

鎮静剤の使用についての説明

鎮静剤の使用目的は、内視鏡検査時の緊張を和らげ、検査を楽に受けられるようにするためです。

◎検査当日は、車やバイクなどの運転は出来ませんのでご注意ください。

実施にあたっては、点滴を確保し、血圧・脈拍・動脈血酸素飽和度のモニターを装着し、医師もしくは看護師が監視し、異常を認めた場合は直ちに適切な処置を行える体制にしています。原則として鎮静剤としてドルミカム(一般名:ミダゾラム)を用います。鎮静剤使用に関して、本薬剤に対して過敏症状の既往歴のある患者、急性閉塞隅角緑内障および重症筋無力症の患者は禁忌となります。当てはまる方は事前にお伝えください。

鎮静剤の使用に伴う重大な副作用として、無呼吸、呼吸抑制、舌根沈下(0.1%~0.5%)、錯乱(0.1%未満)が現れることがあります。その他の偶発症として、薬剤アレルギー、血圧の変動(異常な低血圧や高血圧)、脈拍の異常、発疹、尿閉、静脈炎などを起こすことがあります。

鎮静剤使用後、脱力やふらつきを生じることがありますので、検査後に30分~1時間程度は回復室で休んでいただきます。当日は自動車の運転や危険な作業は控えるようにしてください。可能であれば付添者の同伴をお勧めします。

薬の作用により、説明の内容を忘れることがあります。必要な時は再度説明させていただきますので、ご連絡ください。